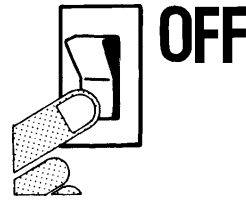


保守とお手入れ

注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- 器具が汚れた場合は水でしめしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。金属みがきサンドペーパー等は使用しないでください。
器具の破損・錆の原因になります。

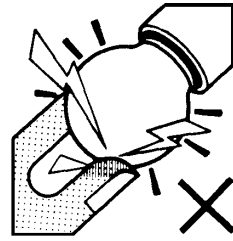


- 器具に殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。
器具の変質・変色の原因になります。



- 器具のすきまに金属類（針金・ピン等）を差し込まないでください。
感電の原因になります。

- 点灯および消灯直後のランプは高温になっています。手をふれないでください。
やけどの原因になります。



- ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
 - ・スイッチが入って入るか？
 - ・ランプが切れていないか？
 - ・ランプがソケットに確実にハマっているか？

- ご使用中に異常が生じた時は、ご使用になるのをやめ、速やかに電源を切って、お買い上げいただきました販売店・工事店へご相談ください。

[お読になりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保存してください。]



アフターサービスのお問い合わせ

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書かれた型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、2ページの「部品名称」のイラストをご参照ください。

東京営業部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL(03)6741-2340(代表) ダヴィンチ桜橋6階	金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号 TEL(076)222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階
住宅・マンション部	〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目7番1号 TEL(03)6741-5810(代表)	高松営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号 TEL(0878)39-3195(代表) クリエイトビル302
札幌営業所	〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2丁目3番6号 TEL(011)742-1311 松崎ビル4階	広島営業所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号 TEL(082)568-5371(代表) 広島パレスビル2階
仙台営業所	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号 TEL(022)227-1251(代表) 第5タカノポルビル8階	福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号 TEL(092)721-5661(代表) ORE福岡赤坂ビル7階
横浜営業所	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目89番 TEL(045)664-2871(代表) 尾上町スカイビル503	宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号 TEL(028)638-1002 マスミートールビル2階
名古屋営業所	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目19番6号 TEL(052)238-4633(代表) グランスクエア新栄ビル5階	静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号 TEL(054)273-5305 ローズガーデン406
近畿営業部	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目9番8号 TEL(06)6258-6721(代表) シマノ・住友生命ビル3階		

所在地・電話番号が変更になることがありますのであらかじめご了承ください。

取扱説明書

WALL WASHER SERIES



yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんの上、正しく取付正しくご使用ください。
この取扱説明書の記載内容は、次の目次の通りです。

- 電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次

- 1ページ：器具型番、定格表、適合安定器について
- 2ページ：照明器具の施工（取付）方法について
- 3ページ：照明器具のご使用方法について
- 4ページ：お手入れ方法、アフターサービスについて

定格表

切込寸法 (mm)	185	215	185	215		
カテゴリーNo. 型番	D5364W 88DJ-95G9-1W	D5365W 88DJ-96G6-1W	D5368W 88DD-52G9-1W	D5366W 88DJ-97G3-1W	D5367W 88DJ-98G0-1W	D5369W 88DD-53G6-1W
質量 (kg)	1.8	2.3	1.8	2.3		
定格ランプ	RX7s メタルハイドランプ HQI-TS 70W	RX7s メタルハイドランプ HQI-TS 150W	E11 ハロゲンランプ 100V 150W	RX7s メタルハイドランプ HQI-TS 70W	RX7s メタルハイドランプ HQI-TS 150W	E11 ハロゲンランプ 100V 150W
仕様	セミクリアフィルター付 ランプ・安定器別 ランプ天井裏交換可能			セミクリアフィルター付 ランプ・安定器別 ランプ天井裏交換可能		
照射面 近接限度	1.0m					

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

適合安定器

- HQIランプ使用の器具(D5364W・D5365W・D5366W・D5367W)

HQI専用安定器特性表

適合ランプ	型番	定格電圧 (V)	入力電流 (A)			入力電力 (W)	質量 (kg)	外形寸法 (mm)		
			無負荷時	始動時	安定時			幅	高さ	全長
HQI 70W	547 21 TM70 ST1 A/B	100	1.9	1.2	1.0	92	3.8	82	77	270
	547 21 TM70 ST2 A/B	200	1.95	0.7	0.5	92	3.8	82	77	270
HQI 150W	547 21 TM151 ST1 A/B	100	3.5	2.0	1.96	185	5.4	82	92	340
	547 21 TM151 ST2 A/B	200	1.7	1.0	0.98	180	5.4	82	92	340

- 回路容量は、無負荷時入力電流を基に計算してください。
- 上記安定器は全て高効率・屋外用仕様です。屋外用ですので、屋内用としてもご使用いただけます。
- 型番内A/Bはそれぞれの周波数50Hz、60Hzを表わします。
- 二次配線長（器具～安定器）は、30m以下にしてください。

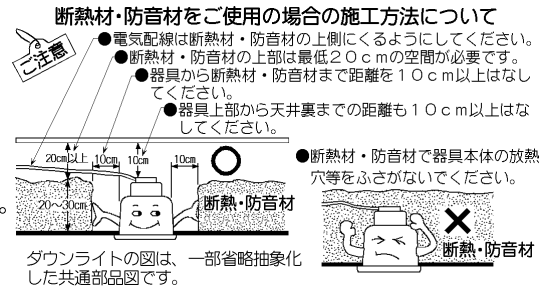
施工説明

電気工事店様へ、この説明書はお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

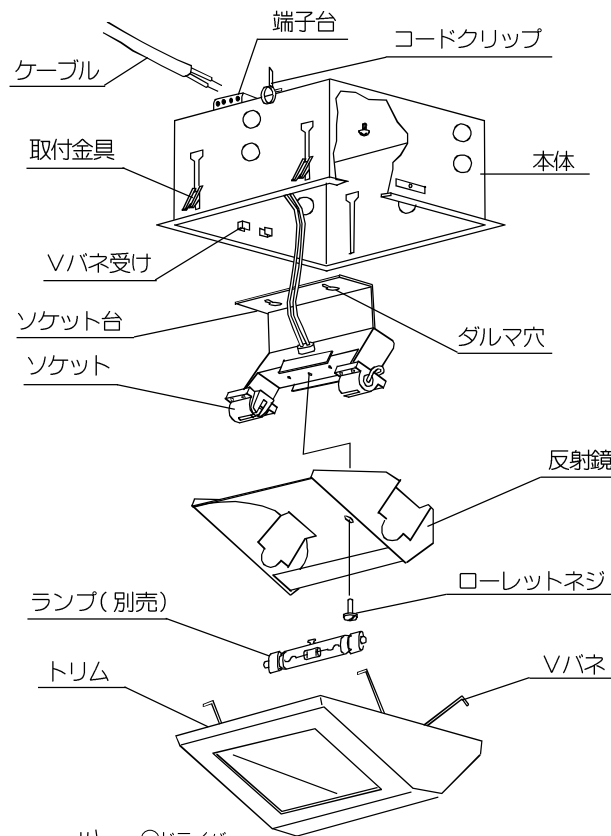
- 施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付けおよび傾斜天井への取付けはしないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ず、使用する地域の電源周波数にあった適合安定器をお使いください。
- 使用するランプにより安定器の種類が異なりますので、ご注意ください。
- 住宅の断熱施工天井では使用できません。住宅以外の建物に使用するとき、右図のように行って下さい。



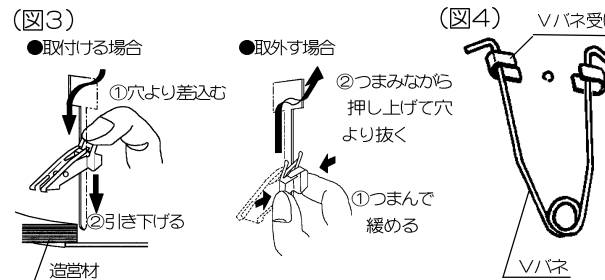
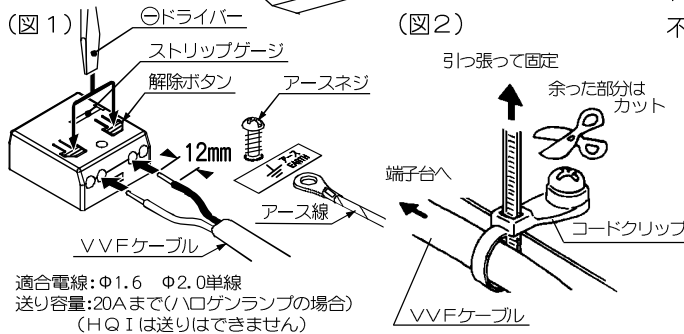
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では、使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 住宅の断熱施工されている屋根や天井には使用しないでください。法律で禁止されています。

各部のなまえと取付けかた



- ①取付前の確認をする。
器具質量に十分耐える様、取付部の強度を確認します。不備がありますと器具落下の原因となります。
- ②切込寸法（“定格表”参照）に従って天井に角穴をあける。
切込寸法公差は±2mmとしてください。不備がありますと器具落下の原因となります。
- ③電源線または管灯回路ケーブル線を端子台に接続する。
ケーブルを差し込み穴まで確実に差し込みます。(図1) 専用安定器の取付等は専用安定器の仕様に従ってください。天井裏交換タイプについては、コードクリップでケーブルをしっかり固定します。(図2)
- ④アース線を接続する。(HQ I ランプ用器具)
アース線を器具側アース端子にとりつけます。(D種接地工事を行ってください。)
- ⑤反射鏡・ソケット台を取外す。
反射鏡はローレットネジをはずします。ソケット台はネジをゆるめてダルマ穴よりはずします。
- ⑥本体を取付ける。
本体を埋込穴に入れ取付金具を引き下げて固定します。(図3) 壁面方向に注意してください。
- ⑦ソケット台・反射鏡を取付ける。
ソケット台はダルマ穴の奥で確実に固定します。反射鏡はローレットネジで確実に固定します。
- ⑧ランプを取付ける。(ランプは別売です。)
3ページのランプの取付方法に従って確実に行ってください。不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。
- ⑨トリム枠を取り付ける。
トリム枠はVバネを本体のVバネ受けに取り付け、本体内部へ押し上げてください。(図4) 不備がありますと器具落下の原因となります。



取扱説明

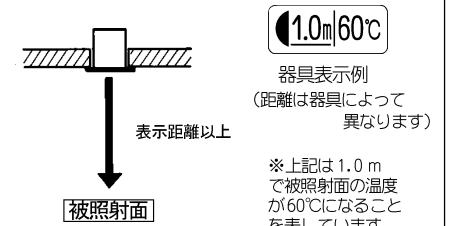
お客様へ、この説明書は大切に保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。感電・火災の原因となります。
- 器具と被照射面は1ページの照射面近接限度の距離以上離してください。被照射物の火災・変色の原因となります。
- 断熱材・防音材でおおわないでください。火災の原因になります。

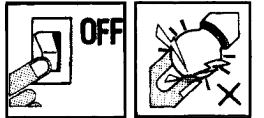


注意

- 器具の下にストーブ・ガスレンジ等の温度の高くなる物や湿気を発生させる物を置かないでください。火災の原因となります。
- この器具は屋内専用で5～35℃の範囲で使用するように設計されています。湿気の多い場所や水のかかる場所、温度の高い場所などには使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際には必ず電源を切って、約40分間待ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書に従って、指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用しますと、火災の原因となります。
- 3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。(使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。)

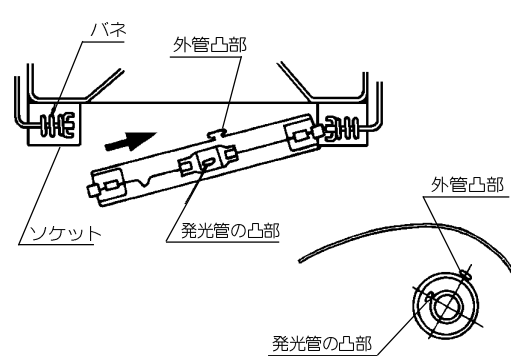
ランプ交換のしかた

注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。



ランプの取付方法について

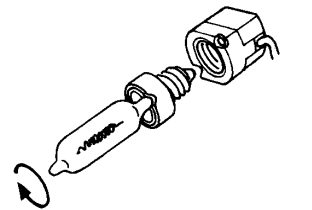
HQ Iタイプ (D5364W・D5365W・D5366W・D5367W)



- ランプの凸部を左図の位置関係にして片方のソケットにランプ口金部を入れて押し込みながらもう片方のソケットにランプ口金部をはめ込みます。
- ランプ発光管凸部が水平より下になる様な状態は色ムラや寿命の低下等の原因となります。
 - ランプ点灯時、ランプ両端に高圧パルスが発生します。ランプ交換時等、ランプを取り外す場合は必ず電源を切ってください。

ハロゲンタイプ (D5368W・D5369W)

ゆるみ、ガタ等がないように、ソケットの奥までねじ込んでください。



(D5365W・D5367W・D5368W・D5369W)

- ローレットネジ(4箇所)を緩め、天板を反射鏡ごと本体からスライドさせてはずします。
- ランプを交換した後、天板をもとに戻し、ローレットネジをしっかり締めて固定します。
- 天板の脱着の際、反射鏡を本体のふちで傷つけないよう慎重に行ってください。

ランプ交換は必ず電源を切って約40分待ってから行ってください。

照射方向の調整方法について(チルトダウンライト)

- 一方向にのみチルトします。(水平面より最大35°)
- 照射方向の調整は必ず電源を切り、ツマミを持って行ってください
- 消灯後、ツマミは大変高温になっております。火傷には十分御注意ください。

HQ I 照明器具の特性について(D5364W・D5365W・D5366W・D5367W)

- ランプが不点になった時、そのまま放置しますと高圧パルスにより点灯装置(イグナイター)及び管灯回路の故障の原因となりますので、早急にランプを交換するか電源を切ってください。
- 点灯中電源が切れた場合、ランプの再点灯には5～10分程度の時間がかかります。

ランプの天井裏交換について

